

木造建物調査積算要領(抄)(新旧対照表)

(下線の部分は改正部分)

改 正	現 行
<p style="text-align: center;"><u>別添一の一 木造建物調査積算要領〔軸組工法〕</u></p> <p>(適用範囲) 第1条 この要領は、建物移転料算定要領（平成28年3月11日付け国土用第76号土地・建設産業局総務課長通知。以下「建物算定要領」という。）<u>第3条第1項に係る軸組工法により建築されている木造建物（同条第2項に係る工法により建築されているものを含む。）</u>の調査及び推定再建築費の積算に適用するものとする。</p> <p>(木造建物の区分) 第2条 (略) 2 (略) 3 木造建物〔Ⅱ〕、木造建物〔Ⅲ〕及び木造特殊建物の調査については、第2章の規定を準用して行うほか、推定再建築費の積算が可能となるよう行うものとし、積算については、<u>別添2木造建物数量積算基準</u>（以下「数量積算基準」という。）に定める諸率は適用しないものとし、第3章の規定を準用した積み上げによるか、又は専門メーカー等の見積を徴することにより行うものとする。</p> <p>(所在地等の調査) 第3条 建物の調査を行うに当たっては、あらかじめ、次の事項について調査を行うものとする。 一～三 (略) 四 <u>構造、用途及び建築工法</u></p> <p>(造作の調査) 第16条 造作に係る調査は、次の事項について行うものとする。 一 種類（床の間、書院、床脇、欄間、造付けタンス、階段、手摺、押入れ、造付け下駄箱、床下収納庫、掘りこたつ、霧除庇等。ただし、<u>軸部工事に係る木材材積量に含まれる構成部材</u>を除く。） 二～四 (略)</p> <p>(樋の調査) 第17条 樋に係る調査は、次の事項について行うものとする。 一 形状寸法（軒樋、堅樋、谷樋、集水器別） 二 <u>材質</u> (削る)</p> <p>(数量積算) 第24条 建物の部位別の工事費の算定は、<u>数量積算基準</u>に定めのあるものは、これを用いて行うものとする。</p>	<p style="text-align: center;"><u>別添一 木造建物調査積算要領</u></p> <p>(適用範囲) 第1条 この要領は、建物移転料算定要領（平成28年3月11日付け国土用第76号土地・建設産業局総務課長通知。以下「建物算定要領」という。）<u>第3条に係る木造建物の調査及び推定再建築費の積算に適用するものとする。</u></p> <p>(木造建物の区分) 第2条 (略) 2 (略) 3 木造建物〔Ⅱ〕、木造建物〔Ⅲ〕及び木造特殊建物の調査については、第2章の規定を準用して行うほか、推定再建築費の積算が可能となるよう行うものとし、積算については、<u>別添2の木造建物数量積算基準</u>（以下「数量積算基準」という。）に定める諸率は適用しないものとし、第3章の規定を準用した積み上げによるか、又は専門メーカー等の見積を徴することにより行うものとする。</p> <p>(所在地等の調査) 第3条 建物の調査を行うに当たっては、あらかじめ、次の事項について調査を行うものとする。 一～三 (略) 四 <u>構造及び用途</u></p> <p>(造作の調査) 第16条 造作に係る調査は、次の事項について行うものとする。 一 種類（床の間、書院、床脇、欄間、造付けタンス、階段、手摺、押入れ、造付け下駄箱、床下収納庫、掘りこたつ、霧除庇等。ただし、<u>軸部工事に係る木材材積量に含まれる構造部材</u>を除く。） 二～四 (略)</p> <p>(樋の調査) 第17条 樋に係る調査は、次の事項について行うものとする。<u>なお、第三号の数量は、原則として設計寸法又は図示の寸法による延長又は箇所数によるものとする。</u> 一 形状寸法（軒樋、堅樋、谷樋、集水器別） 二 形質 三 <u>数量（軒樋、堅樋、谷樋については延長、集水器については箇所数）</u></p> <p>(数量積算) 第24条 建物の部位別の工事費の算定は、<u>別添2の木造建物数量積算基準</u>（以下「数量積算基準」という。）に定めのあるものは、これを用いて行うものとする。</p>

(樋工事費)

第38条 樋工事費は、次の方法により算出するものとする。

$$\text{工事費} = \text{1階床面積} \times \text{単価}$$

(削る)

(樋工事費)

第38条 樋工事費は、次の方法により算出するものとする。

$$\text{工事費} = \text{数量} \times \text{単価} \quad (\text{種類別の合計額を求める。})$$

数量：第17条で調査した数量とする。

別添 1 木造建物図面作成基準
(別表)

図面名称	作成の方法等	縮尺	備考
配置図	<p>配置図は、次により作成するものとする。</p> <p>一 建物等の所有者（同族法人及び親子を含む。）を単位として作成する。</p> <p>二 縮尺は、原則として、次の区分による。</p> <p>(1) 建物、庭園及び墳墓を除く工作物、庭木等を除く立竹木 100分の1又は200分の1</p> <p>(2) 庭園、墳墓、庭木等 50分の1又は100分の1</p> <p>三 用紙は、日本産業規格A列3番を用いる。ただし、建物の敷地が広大であるため記載することが困難である場合には、A列2番によることができる（以下この節において同じ。）。</p> <p>四 敷地境界線及び方位を明確に記入する。方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし図面右上部に記入する。</p> <p>五 土地の取得等の予定線を赤色の実線で記入する。</p> <p>六 建物、工作物及び立竹木の位置等を記入し、建物、工作物及び立竹木ごとに番号を付す。ただし、工作物及び立竹木が多数存する場合には、これらの配置図を各々作成することができる。</p> <p>七 図面中に次の事項を記入する。</p> <p>(1) 敷地面積 (2) 用途地域 (3) 建ぺい率 (4) 容積率 (5) 建築年月 (6) 構造概要・<u>建築工法</u> (7) 建築面積 (8) 建物延べ床面積</p>		
平面図	<p>(1) 平面図は、様式第7に建物ごとに作成する。ただし、2階建の建物で1枚の用紙に作成できない場合は、様式第8を使用する。</p> <p>(2) 建物の方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし、図面右上部に記入する。</p> <p>(3) 建物の面積計算に必要な部分及び借家人の占有面積、店舗等の用途区分に応じて主要間仕切りに寸法</p>	1/100	

別添 1 木造建物図面作成基準
(別表)

図面名称	作成の方法等	縮尺	備考
配置図	<p>配置図は、次により作成するものとする。</p> <p>一 建物等の所有者（同族法人及び親子を含む。）を単位として作成する。</p> <p>二 縮尺は、原則として、次の区分による。</p> <p>(1) 建物、庭園及び墳墓を除く工作物、庭木等を除く立竹木 100分の1又は200分の1</p> <p>(2) 庭園、墳墓、庭木等 50分の1又は100分の1</p> <p>三 用紙は、日本産業規格A列3番を用いる。ただし、建物の敷地が広大であるため記載することが困難である場合には、A列2番によることができる（以下この節において同じ。）。</p> <p>四 敷地境界線及び方位を明確に記入する。方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし図面右上部に記入する。</p> <p>五 土地の取得等の予定線を赤色の実線で記入する。</p> <p>六 建物、工作物及び立竹木の位置等を記入し、建物、工作物及び立竹木ごとに番号を付す。ただし、工作物及び立竹木が多数存する場合には、これらの配置図を各々作成することができる。</p> <p>七 図面中に次の事項を記入する。</p> <p>(1) 敷地面積 (2) 用途地域 (3) 建ぺい率 (4) 容積率 (5) 建築年月 (6) 構造概要 (7) 建築面積（<u>一階の床面積をいう。以下同じ。</u>） (8) 建物延べ床面積</p>		
平面図	<p>(1) 平面図は、様式第7に建物ごとに作成する。ただし、2階建の建物で1枚の用紙に作成できない場合は、様式第8を使用する。</p> <p>(2) 建物の方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし、図面右上部に記入する。</p> <p>(3) 建物の面積計算に必要な部分及び借家人の占有面積、店舗等の用途区分に応じて主要間仕切りに寸法</p>	1/100	

- 線を記入する。
- (4) 建物の面積計算は、各階の床面積ごとに行い、原則として、図面の左下側に記入する。
- (5) 変形建物等で通常的面積計算により算出が困難な場合には、当該部分の三斜計算を行う。
- (6) 店舗、事務所、工場等の用途別の面積及び占有区分の面積については、別途必要と認められる部分のみの計算を行う。
- (7) 各室の仕上げは、次表を用いて表示する。

室名	
壁	
床	
天井	

- (8) 建具については、その位置を表示する。ただし、別に建具表（図面）を作成することができる。
- (9) 外壁仕上げは、特に必要な場合はその名称を記入する。
- (10) 当該建物に用地取得等の予定線が掛かる場合は、赤色の実線で表示する。

- 線を記入する。
- (4) 建物の面積計算は、各階の床面積ごとに行い、原則として、図面の左下側に記入する。
- (5) 変形建物等で通常的面積計算により算出が困難な場合には、当該部分の三斜計算を行う。
- (6) 店舗、事務所、工場等の用途別の面積及び占有区分の面積については、別途必要と認められる部分のみの計算を行う。
- (7) 各室の仕上げは、次表を用いて表示する。

室名	
壁	
床	
天井	

- (8) 建具については、その位置を表示する。ただし、別に建具表（図面）を作成することができる。
- (9) 外壁仕上げは、特に必要な場合はその名称を記入する。
- (10) 当該建物に用地取得等の予定線が掛かる場合は、赤色の実線で表示する。

立面図	立面図は、様式第8を使用し（以下同様の様式を使用する。）、4面を作成し、仕上材種の名称を記入する。	1/100	
屋根伏図	屋根伏図は、屋根の形状、勾配、軒出、傍軒出、 <u>葺材名称及び面積並びに樋の形状寸法及び材質を記入する。</u>	1/100	
建築設備位置図（電気設備）	平面図を基に、電灯等の区分別に設置されている位置を表示する。	1/100	
建築設備位置図（給水・給湯設備）	平面図を基に、給水・給湯の水栓が設置されている位置を表示する。ただし、排水設備を同一の図面で作成することができる。	1/100	
建築設備位置図（屋内・排水設備）	平面図を基に、屋内排水は浴槽、洗面台、便器等の設置されている位置を表示する。 (注) 給水・給湯設備と同一の図面で作成することが	1/100	

立面図	立面図は、様式第8を使用し（以下同様の様式を使用する。）、4面を作成し、仕上材種の名称を記入する。	1/100	
屋根伏図	屋根伏図は、屋根の形状、勾配、軒出、傍軒出 <u>及び葺材名称及び樋の形状寸法、材質並びに延長（数量）を記入し、屋根面積及び樋集計表（計算過程を含む。）を記載する。</u>	1/100	
建築設備位置図（電気設備）	平面図を基に、電灯等の区分別に設置されている位置を表示する。	1/100	
建築設備位置図（給水・給湯設備）	平面図を基に、給水・給湯の水栓が設置されている位置を表示する。ただし、排水設備を同一の図面で作成することができる。	1/100	
建築設備位置図（屋内・排水設備）	平面図を基に、屋内排水は浴槽、洗面台、便器等の設置されている位置を表示する。 (注) 給水・給湯設備と同一の図面で作成することが	1/100	

	できる。		
建築設備位置図 (屋外・排水設備)	配置図を基に、屋外排水の設置されている位置を表示する。ただし、同一の敷地内に複数棟の建物がある場合は兼用することができる。	1/100 又は 1/200	
建築設備位置図等 (上記以外の建築設備)	厨房設備、空調設備、浄化槽等が設置されている場合には、各々の設備の積算に必要な図面を作成する。 ただし、厨房（流し台等）設備及び空調（クーラー等）設備については、平面図に表示することができる。		必要に応じて作成する
写真撮影方向図	配置図及び平面図を基に、写真撮影の位置を明確にするための位置図を作成する。	1/100 又は 1/200	

	できる。		
建築設備位置図 (屋外・排水設備)	配置図を基に、屋外排水の設置されている位置を表示する。ただし、同一の敷地内に複数棟の建物がある場合は兼用することができる。	1/100 又は 1/200	
建築設備位置図等 (上記以外の建築設備)	厨房設備、空調設備、浄化槽等が設置されている場合には、各々の設備の積算に必要な図面を作成する。 ただし、厨房（流し台等）設備及び空調（クーラー等）設備については、平面図に表示することができる。		必要に応じて作成する
写真撮影方向図	配置図及び平面図を基に、写真撮影の位置を明確にするための位置図を作成する。	1/100 又は 1/200	

改 正

現 行

様式第1

木造建物調査表

様式第1

所在地		整理番号	
建物所有者		電話	調査年月日 年 月 日
法人代表者			受注者
所有者住所		調査員	
構造概要		建築工法	建築年月 年 月
建物面積	1階床面積	2階床面積	用途 [確認資料] []
	. m ²	. m ²	
仮設	外壁面数	シート張要否	その他
基礎	種類	基礎天端幅	地上高
軸部	柱径	柱長	柱の材種
屋根	屋根形状	軒出	屋根勾配
外壁	外壁周長	壁高	仕上材種
内壁・床・天井 各室別の仕上げ材については図面参照			
開口部〔建具〕	種類	大きさ区分	数量 (㎡)
	サッシュ窓		
木製建具	種類	大きさ区分	数量 (枚)
造作	種類 (名称)	形状寸法	単位 数量 備考

様式第1

木造建物調査表

様式第1

所在地		整理番号	
建物所有者		電話	調査年月日 年 月 日
法人代表者			受注者
所有者住所		調査員	
構造概要		(新設)	建築年月 年 月
建物面積	1階床面積	2階床面積	用途 [確認資料] []
	. m ²	. m ²	
仮設	外壁面数	シート張要否	その他
基礎	種類	基礎天端幅	地上高
軸部	柱径	柱長	柱の材種
屋根	屋根形状	軒出	屋根勾配
外壁	外壁周長	壁高	仕上材種
内壁・床・天井 各室別の仕上げ材については図面参照			
開口部〔建具〕	種類	大きさ区分	数量 (㎡)
	サッシュ窓		
木製建具	種類	大きさ区分	数量 (枚)
造作	種類 (名称)	形状寸法	単位 数量 備考

桶	軒樋の形状寸法		材質	削る					
	壁樋の形状寸法		材質	削る					
	谷樋の形状寸法		材質	削る					
	集水器の形状寸法		材質	削る					
電気設備	照明器具の種類		照明器具の数量	コンセントの規格					
	コンセントの数量		スイッチの規格	スイッチの数量					
	分電盤の規格			分電盤の数量					
	その他								
ガス設備	ガス種類	ガス栓数	その他						
給水・給湯設備	水栓数	配管の種類	その他						
排水設備	排水管の種類	形状寸法(管径)	配管の延長						
	樹の種類	形状寸法(大きさ)	樹の数量						
衛生設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
厨房設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
その他の設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
建物附随工作物	種類(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦とし、必要に応じ記載項目を追加する。

桶	軒樋の形状寸法		材質	延長					
	壁樋の形状寸法		材質	延長					
	谷樋の形状寸法		材質	延長					
	集水器の形状寸法		材質	延長					
電気設備	照明器具の種類		照明器具の数量	コンセントの規格					
	コンセントの数量		スイッチの規格	スイッチの数量					
	分電盤の規格			分電盤の数量					
	その他								
ガス設備	ガス種類	ガス栓数	その他						
給水・給湯設備	水栓数	配管の種類	その他						
排水設備	排水管の種類	形状寸法(管径)	配管の延長						
	樹の種類	形状寸法(大きさ)	樹の数量						
衛生設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
厨房設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
その他の設備	種別(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				
建物附随工作物	種類(名称)	形状寸法	単位	数量	備考				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦とし、必要に応じ記載項目を追加する。

様式第7

様式第7		整理番号	図面番号	
所在地				
所有者住所				
所有者				
構造概要				
構造				
用途				
基礎				
屋根				
外壁				
建築工法				
図面名称		階尺		
調査年月日		受注者		
資格名称・作成者				

様式第7

様式第7		整理番号	図面番号	
所在地				
所有者住所				
所有者				
構造概要				
構造				
用途				
基礎				
屋根				
外壁				
(新設)				
図面名称		階尺		
調査年月日		受注者		
資格名称・作成者				

木造建物建築直接工事費計算書

様式第9

所在地				整理番号			
建物所有者		電話			積算年月日		年 月 日
法人代表者					採用単価		年度
所有者住所				用途(現況)			
構造概要		建築工法				用途(建築時)	
柱の材種		品等	柱の分布		木材費区分		
建物面積		1階床面積	2階床面積	延床面積		労務費区分	
直接工事費計							
工種		計算内訳				直接工事費	
〔1〕 仮設工事費						小計	
延床面積 A		規模補正率 B		建物形状補正率 C		仮設工事面積 A×B×C=D	
出典 (○-1)番号		単価名称		形状寸法	単位	単価	仮設工事面積
					延㎡		金額
〔2〕 基礎工事費						小計	
①-a 布基礎						①計	
面積区分	用途	略記号	1階床面積 A	基礎率 B		基礎長 A×B=C	
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	基礎長計	金額
①-b 布基礎仕上げ							
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	基礎外周長	金額
② 東石						②計	
1階床面積 A		東無面積 B		A-B=C	面積区分	基礎率 D	東石数量 C×D
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	東石数量計	金額

木造建物建築直接工事費計算書

様式第9

所在地				整理番号			
建物所有者		電話			積算年月日		年 月 日
法人代表者					採用単価		年度
所有者住所				用途(現況)			
構造概要				(新設)			用途(建築時)
柱の材種		品等	柱の分布		木材費区分		
建物面積		1階床面積	2階床面積	延床面積		労務費区分	
直接工事費計							
工種		計算内訳				直接工事費	
〔1〕 仮設工事費						小計	
延床面積 A		規模補正率 B		建物形状補正率 C		仮設工事面積 A×B×C=D	
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	仮設工事面積	金額
					延㎡		金額
〔2〕 基礎工事費						小計	
①-a 布基礎						①計	
面積区分	用途	略記号	1階床面積 A	基礎率 B		基礎長 A×B=C	
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	基礎長計	金額
①-b 布基礎仕上げ							
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	基礎外周長	金額
② 東石						②計	
1階床面積 A		東無面積 B		A-B=C	面積区分	基礎率 D	東石数量 C×D
出典 (○-1)番号	単価名称		形状寸法	単位	単価	東石数量計	金額

③ べた基礎							③ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	底盤施工面積	金額		
用途		底盤施工面積 A		基礎率 B		立上数量 A×B=C			
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	立上数量計			
④ 独立基礎							④ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	独立基礎数	金額		
⑤ 土間コンクリート							⑤ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
⑥ 防湿コンクリート							⑥ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
⑦ 特殊基礎							⑦ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
〔3〕 軸部工事費							小計		
① 軸部木材費							① 計		
延床区分	用途	柱径	柱長	延床面積 A	木材材積率 B	柱径補正率	柱長補正率	施工状況補正率	木材材積量 A×B
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	木材材積量		金額	
② 労務費（大工手間等）							② 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	延床面積	金額		

③ べた基礎									
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	底盤施工面積	金額		
用途		底盤施工面積 A		基礎率 B		立上数量 A×B=C			
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	立上数量計			
④ 独立基礎							④ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	独立基礎数	金額		
⑤ 土間コンクリート							⑤ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
⑥ 防湿コンクリート							⑥ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
⑦ 特殊基礎							⑦ 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	施工面積	金額		
〔3〕 軸部工事費							小計		
① 軸部木材費							① 計		
延床区分	用途	柱径	柱長	延床面積 A	木材材積率 B	柱径補正率	柱長補正率	施工状況補正率	木材材積量 A×B
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	木材材積量		金額	
② 労務費（大工手間等）							② 計		
出典 (2-1'番号)	単価名称	形状寸法		単位	単価	延床面積	金額		

〔4〕 屋根工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔5〕 外壁工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔6〕 内壁工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔7〕 床工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	
〔8〕 天井工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔9〕 開口部工事費						小計	
① 金属製建具						①計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	

〔4〕 屋根工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔5〕 外壁工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔6〕 内壁工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔7〕 床工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	
〔8〕 天井工事費						小計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	施工面積	金額	
〔9〕 開口部工事費						小計	
① 金属製建具						①計	
出典 (2-1) (備考)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額	

② 木製建具					② 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
③ その他					③ 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
[10] 造作工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
[11] 樋工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	1階床面積	金額
[12] 塗装工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	延床面積	金額
[13] 建築設備工事費					小計	
① 電気設備					① 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

② 木製建具					② 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
③ その他					③ 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
[10] 造作工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
[11] 樋工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
[12] 塗装工事費					小計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	延床面積	金額
[13] 建築設備工事費					小計	
① 電気設備					① 計	
出典 (9-1'費明)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

② ガス設備					② 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
③ 給水・給湯設備					③ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
④ 排水設備					④ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑤ 衛生設備					⑤ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑥ 厨房設備					⑥ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑦ その他設備					⑦ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

② ガス設備					② 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
③ 給水・給湯設備					③ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
④ 排水設備					④ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑤ 衛生設備					⑤ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑥ 厨房設備					⑥ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額
⑦ その他設備					⑦ 計	
出典 (-)-1-番号	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

[14] 建物附随工作物工事費						小計
出典 (→ 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦とし、必要に応じ記載項目を追加する。

[14] 建物附随工作物工事費						小計
出典 (→ 番号)	単価名称	形状寸法	単位	単価	数量	金額

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦とし、必要に応じ記載項目を追加する。